

平成28年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	村民総参加 みんなで応援 子育てのむら事業
事業主体 (連絡先)	筑北村 子育て支援センター 0263-67-1020 東筑摩郡筑北村坂井5687-2
事業区分	保健、医療、福祉の充実
事業タイプ	教育、文化の振興
総事業費	580,653円 (うち支援金: 456,000円)

事業内容

「ニコニコ子育て」ステーション事業

○親子ふれあい講座

- ・子育て中の保護者等を対象に「イク★ナビ」として、しつけ講座・食育講座・手遊び講座・ほめ方講座を実施。
- ・村民講演会「発達障害の子どもの健やかな成長を願って」をテーマに実施。

○ペアレント・トレーニング

保育園保護者・小学生保護者・特別支援在籍のお子さんの保護者を対象に、1コース8回で実施。修了者のためのフォローアップを実施。

○発達障害を理解する講座を5回実施。



【村民講演会】

発達障害の子どもの健やかな成長を願って
～切れ間のない応援をもとめるために～

【目標・ねらい】

- ①正しい発達障害の理解を広げる
- ②保護者の子育て意識の向上

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

- ①発達障害を理解する講座の受講者数が今年度で100名以上に達した。また村民講演会には84名の参加者があり、発達障害に対する理解が深まったという者が63%みられた。「発達障害の基礎知識を学び理解し、お互いに支え支えられる者」が着実に増加してきている。
- ②親子ふれあい講座の参加者で、受講後に子どもと向き合う楽しさを感じる母が60%以上。ペアレント・トレーニング修了者は、受講前より「子育てに対する自信度がアップした」92.7%、「子どもの気になる行動が改善した」77.8%みられた。前向きに子育てができる一助となっている。

※自己評価【 A 】

【理由】

・親子ふれあい講座を実施する中で、信州大学の本田秀夫先生の支援を受けることができ、村民講演会を実施し、輪を広げる事ができた。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

- ①継続実施し、発達障害への理解の輪を広げ、お互いに支え支えられる村づくりをめざす。
- ②継続実施し、子育てに不安や困難さを抱えている保護者に、自信を持って子育てができるよう支援を行い、さらに保護者同士で支援をしあえるような、子育て支援ネットワークづくりをすすめる。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある